

| 番号 | 氏名 | 抱負 |
|-----|-------|---|
| 021 | 池田 敦彦 | 診療放射線技師が役割として弱点で発展途上である、災害医療(DMAT活動・救護班)やチーム医療などの分野を診療放射線技師としての役割や必要性を定着させ次世代の診療放射線技師を育成するカリキュラムにも取り入れるように確立させていきたいと考えています。 |
| 022 | 池田 秀 | この放射線技術学会の国際化は、我々の活動や研究成果をより広く世の中に還元する上でも大切なことと考えます。それに加え、学会が最も大切なものの一つはやはり、その質的レベルにあります。このため、倫理の基づいた質の高い発表や論文が大切です。したがって、レベルの向上と発信力を重視した活動を進めていきたいと考えています。 |
| 023 | 石井 美枝 | JSRTにおけるMMG分野の研究発展のために努力します |
| 024 | 石井 里枝 | この1年、画像分科会の委員として活動してきました。引き続き委員として、またマンモグラフィ領域の研究を継続し、学会の発展のために努力します。 |
| 025 | 石坂 欣也 | 私は日本放射線技術学会が様々な研究領域を含むことで、人間の健康と命を守るという根本的な使命を貫くことが可能と考えます。私は本学会の様々な事業に参加することによって公平公正な学会運営を行い、さらに様々な研究の一つ一つに価値を付加するために努力する所存でございます。われわれの抱く夢は医療画像という領域において新しい発見によりまだ見ぬ世界を作り出すことであると考えております。よろしくお願ひいたします。 |
| 026 | 石田 隆行 | 学会の発展には、構成する会員個々の向上心と会員が必要と感じている学術的事業の展開が必要です。向上心ある会員が、基礎知識やプログラミング技術などの各分野で必要な知識と技術と専門的な知識や技術を応用する力を養い、未来の医療に役立つ研究成果を発表する機会を得ることによって、それを達成することができます。そのための学会事業が展開できるように尽力したいと思っています。 |
| 027 | 石田 有治 | 4年間の代議員としての経験を活かし、公益性が重視される本会の活動に寄与するとともに、本会が積極的に取り組む国際化という大きな柱を地方部会の活性化という視点から支えていきたいと考えています。また執行部から会員・会員から執行部へのスムーズな情報伝達に努め双方の距離を縮めることによって学会の円滑な運営に貢献するとともに、非会員の方にも本会の活動に関心を持って頂き入会促進に結び付けたいと思っています。 |
| 028 | 石風呂 実 | 日本の放射線技術の向上と世界へその技量を発進し、今後の診療放射線技師の知力のさらに向上することを目指す。そのために代議員として尽力したいと思います。 |
| 029 | 磯田 康範 | デジタル画像による放射線技術画像は画像再構成法が大きく影響している。特に細胞はエネルギーに依存することから物質分別が可能としている。また、検出器などの構成もモダリティに関係なく方向性が定まり見出されてきている。これらの現状から目的とする臓器について各モダリティ部門を統合して総合的に技術の向上を目指す事に寄与したいと考えます。 |
| 030 | 磯辺 智範 | 放射線技術の進歩が著しい中、基礎から臨床の幅広い領域を担う本学会の果たす役割は大きい。放射線技術のさらなる発展に寄与すべく、探求心を持って真摯に研究に取り組む姿勢のある会員も多いが、研究倫理をどう捉えてどう処理するかという問題で研究を躊躇する会員も少なくない。一代議員として、この問題点をサポートできる体制作りを推進し、微力ながら本学会に貢献したいと考えている。 |